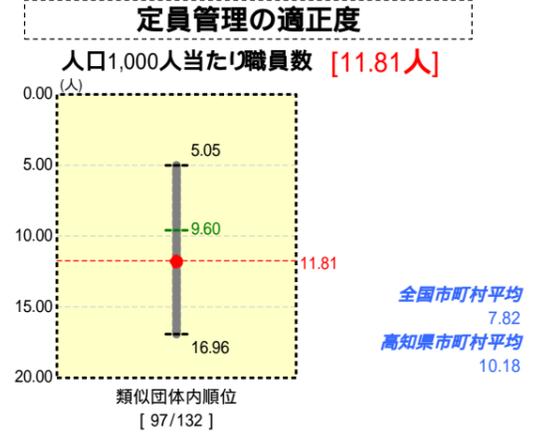
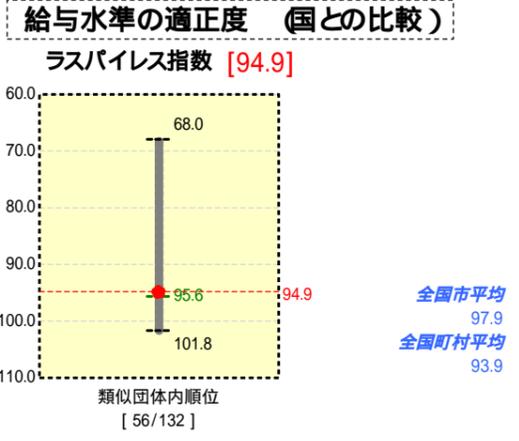
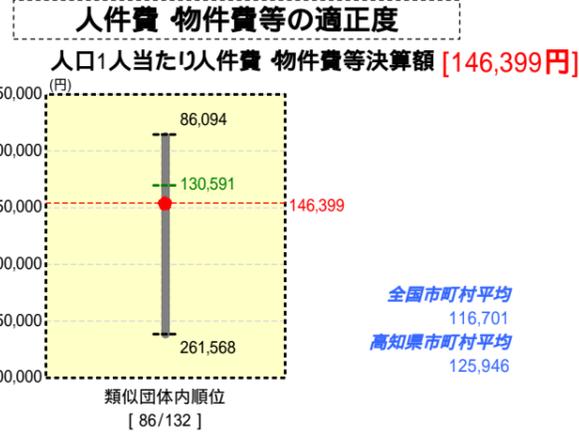
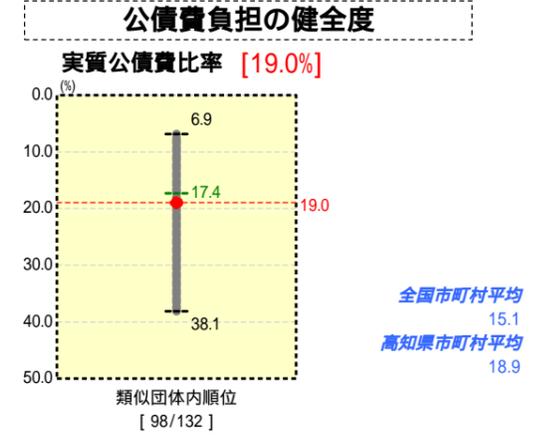
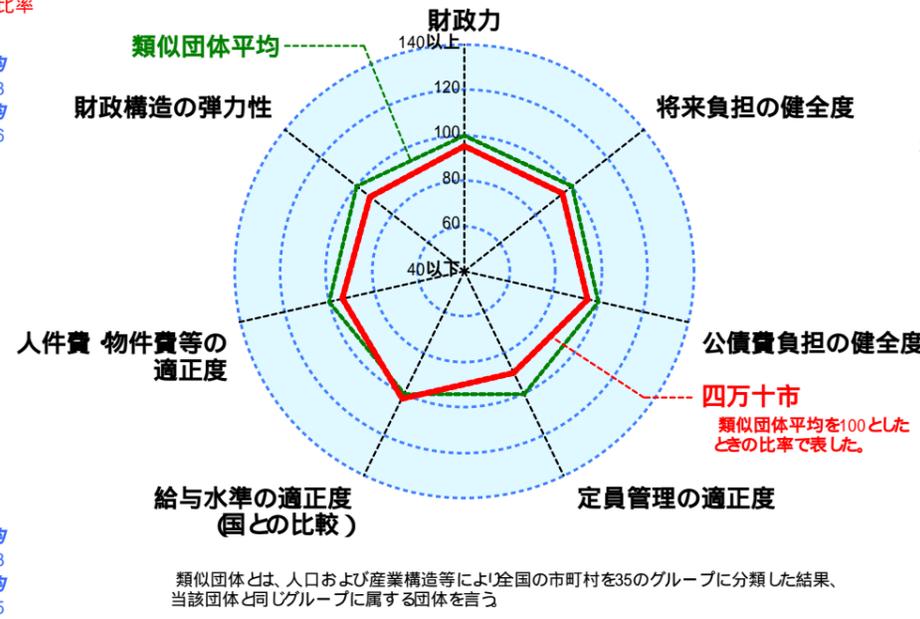
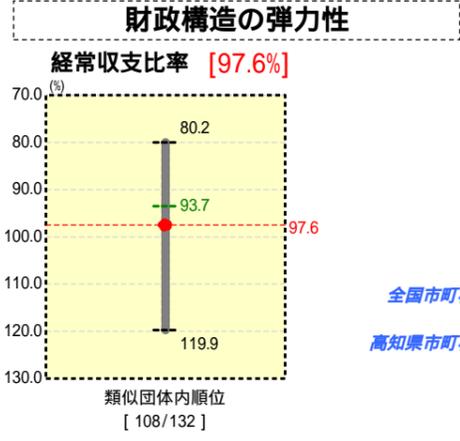
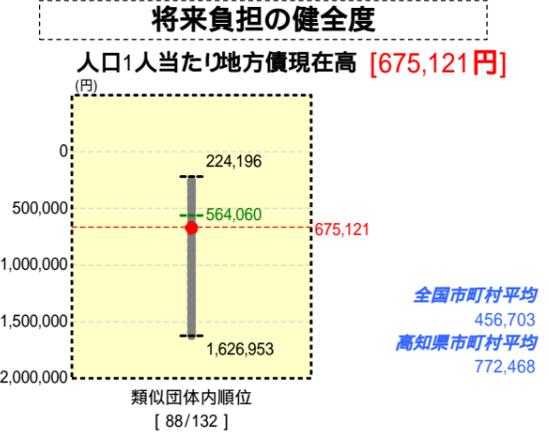
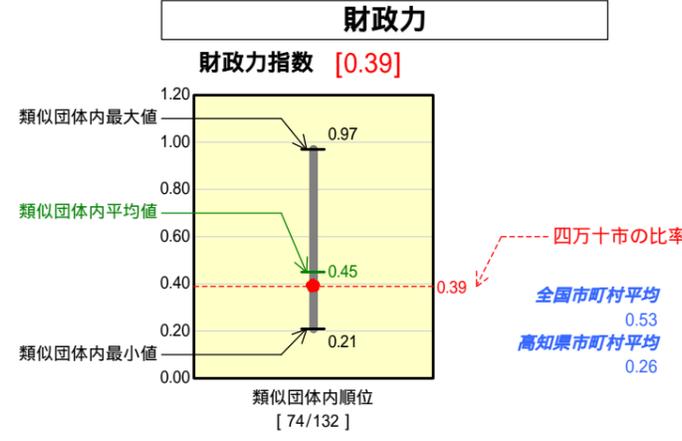


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

高知県 四万十市

人口	37,499 人(H19.3.31現在)
面積	632.42 km ²
歳入総額	18,870,314 千円
歳出総額	18,770,058 千円
実質収支	77,846 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
 全国平均を上回る高齢化率(17年国勢調査27.0%)、脆弱な産業基盤と長引く景気低迷などにより、類似団体平均を下回っているため、税の収納率向上対策(6年間で1.1%の向上)などによる歳入確保に努める。

【経常収支比率】
 ・行政改革大綱(実施計画(集中改革プラン))に基づく職員数の削減(6年間で53人(10%減)、職員給与カット(特別職10%、一般職3%)、保育所統廃合、補助金の整理合理化などにより、経常経費は減少したが、市税収入の減少が大きく比率は悪化(対前年度比0.2ポイント上昇)した。今後は歳入・歳出の一層の改革に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
 類似団体平均を上回っているのは、人件費が要因。行政面積が広大で保育所数が多く、それら保育所と市民会館、図書館などの施設運営を直営で行っているため、保育所統廃合・民営化、市民会館や図書館運営の委託化を進める。

【ラスパイレース指数】
 ・行政改革大綱(実施計画(集中改革プラン))に基づく職員給与カット、特殊勤務手当の支給凍結により類似団体平均を下回っている。今後は、職務給の適正化、特殊勤務手当・通勤手当の見直しなど、抜本的な給与の適正化を進める。

【人口1人当たり地方債現在高】
 類似団体平均を上回っているのは、平成12~14年度の大型施設整備(国体関連施設、学校給食施設、四万十いやしの里など)などによるもので、平成15年度から普通建設事業の大幅削減(40~45%減)と地方債発行額の抑制に努めている。

【実質公債費比率】
 類似団体平均を上回っており、対前年度比1.3%上昇したのは、平成12~14年度の大型施設整備と一部事務組合のごみ処理施設整備の起債償還本格化などによるもの。平成15年度から普通建設事業の大幅削減と地方債発行額の抑制により、平成18年度をピークに減少に転じると見込まれるが、平成19年度から新庁舎建設、第2給食センター建設などの合併関連の大型施設整備を計画しており、「公債費負担適正化計画」に基づき、合併関連事業以外のさらなる事業費削減と地方債発行額の抑制、合併特別債や辺地・過疎対策事業債などの有利債の活用、繰上償還の実施など、適正化に努める。

【人口100人当たり職員数】
 類似団体平均を上回っているのは、行政面積が広大で保育所数が多く、それら保育所と市民会館、図書館などの施設運営を直営で行っているため施設関係職員数が多いため。行政改革大綱(実施計画(集中改革プラン))に基づき、保育所の統廃合・民営化、市民会館や図書館運営の委託化などを進め、職員数削減(6年間で53人(10%減))を図る。